

- ◆ 病床については、現在、稼働病床と非稼働病床併せて、600床の確保の目途がたっている。
- ◆ さらに、廃止病棟の稼働も含め、合計で1,000床の確保に向け、準備をすすめているところ。
- ◆ しかしながら、厚生労働省の算定式では、ピーク時において1日あたり入院治療が必要な患者数は約15,000人。
- ◆ 当面、重症者対応で300床、トータルで3,000床の病床の確保を急ぐ。

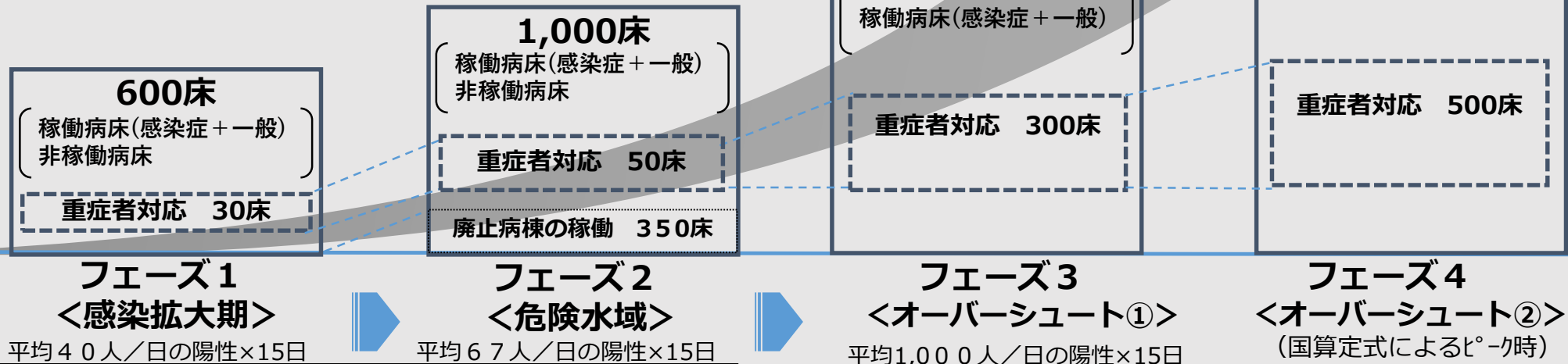
👉 オーバーシュートに備え、公的医療機関等に対し、まず3,000床の病床確保に向けた要請を行った。

病床確保見込

オーバーシュートへの危険信号

- ① 直近1週間の新規確定患者数やリンクが不明な新規確定患者数及び前週と比較した増加幅
- ② PCR検査等の件数と陽性率の上昇
- ③ 陽性者の年代別推移における高齢者割合の増加
- ④ 集中治療室（ICU）の稼働率の増加

現在の陽性者数215人
(うち重症: 16人)



※フェーズ2 (1,000床) までは病床確保の見込み